

SSKU じりつせいかつ 自立生活センター きかんし CILふちゅう機関紙

# SunSunニュース

## vol.44

2024年ねん1月がつごう号

### バリアフリー まちづくり



### こうしゅう 公衆トータル調査

#### もくじ 目次

<small>じるかいじょ</small> JIL介助サービス委員会 <small>いんかい</small> <small>こうえん</small> 講演 <small>ほうしゅうかいてい</small> 「報酬改定について」	2
<small>がつむいか</small> 3月6日(水) <small>あいえるおー</small> ILOとENIL <small>えねる</small> とENILのP A <small>ばーそなるあしすたんと</small> サービスの調査報告のウェビナー <small>ちようさほうこく</small> に登壇 <small>とうだん</small> してきました!	3
<small>せいしんしょうが</small> 精神障害当事者として生きてきて	6
<small>えぬえいちけー</small> NHKスペシャル <small>しゅつえん</small> に出演しました & <small>ようせいけんしゅう</small> バリアフリーリーダー養成研修 <small>とうきょうかいじょう</small> 、東京会場 <small>かいさい</small> にて開催予定 <small>よてい</small>	7
<small>いんすたぐらむ</small> Instagramアカウント開設しました! & <small>かいせつ</small> 編集後記 <small>へんしゅうこうき</small>	12

# JIL介助サービス委員会 講演 「報酬改定について」

岡本 直樹

## 報酬改定について ～教えて、岡本さん！～

CILふちゅう  
岡本 直樹

3月22日にJIL介助サービス委員会の依頼で第3回タウンミーティング「報酬改定について」というテーマで、オンラインで講演をしました。参加者は、マイナーなテーマでもあったせいか、30名ほどでしたが特に若い当事者の人たちへの呼びかけと、わかりやすい内容でとのオーダーというのもあり、若手の参加も多くあった印象でした。

1月末の常任委員会で障害者自立応援センターYAH! DOみやざきの山之内さんから直接依頼されました。山之内さんからは、報酬改定の内容は難しすぎるという声も多く、できれば噛み砕いた内容のものというオーダーのため、資料作りに難航し、週末も含め頭を抱えていました。その後、2月後半にはなんとか形になり、さらに〇×クイズを加えるなど、かなりマニアックなものになりました。

### 報酬改定とは何か？

#### ■障害福祉サービス等報酬改定とは

- 障害福祉サービス等に関連する報酬について社会変化に合わせて、見直し等を行うことです。

#### ■なぜ報酬改定が行われるのか？

- 日本の4大課題（年金・医療・介護・子育てなど）に対して、社会保障制度の持続可能性の確保と機能強化が求められている。
- 特に以下の変化は要注意！
  - ・ 人口構成の大きな変化
  - ・ 雇用基盤の変化
  - ・ 家族形態・地域基盤の変化
  - ・ 貧困・格差問題、世代間の不公平
  - ・ 孤独・孤立の広がりなど



日本の社会保障制度の課題は、4つある

### 報酬改定プロセス・〇×クイズ

Q1	社会保障審議会・障害者部会は、報酬改定検討チームの上位機関であるが、報酬改定案は修正できない？	○	×
A1			
Q2	パブリックコメントで出た意見で報酬改定案を見直す必要がある場合、修正するために会議を増やせる？	○	×
A2			
Q3	報酬改定案の最終決済は、内閣総理大臣である。	○	×
A3			
Q4	予算が通らなかつたら報酬改定案は無くなり、前の単価に戻される？	○	×
A4			

厚労省にマニアックな質問をしました！

当日は、若手の方自らが司会進行をされ、初歩的な質問を繰り返しながら報酬改定の基礎から令和6年度改正のポイント、これから介助サービス委員会で取り組んでほしいことなどをしっかりお伝えしました。私自身も若手の方々からの質問が良い気づきになるなど、有意義な内容となりました。

今回の講演をきっかけに介助サービス委員会やその他の委員会等の思いが3年後の報酬改定に繋がればいいなと思いましたが、これから来る課題・難題に対して世代交代後の次世代の自立生活センターで働く障害当事者としてどのように戦っていけば良いか、私の思いを伝えさせて頂きました。良い機会を頂きありがとうございました。

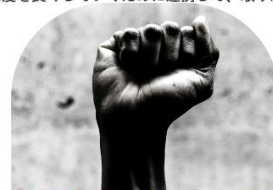
### 個々人やチームができる具体的な行動は？

#### ■私たちができる事は、実はたくさんある

- 地域の状況を把握しよう
  - ・ 所属団体の状況を把握しよう
  - ・ JILのブロックの課題を把握しよう
- サービスを使っている自分たちじゃないと言えない問題点を把握する

#### ■一人ひとりの行動が制度を変え、社会を変える

- ぜひ一緒に制度を良くしていくために連携して、取り組みましょう！



まさしく全国自立生活センターの理念そのもの

# 3月6日(水)にILO<sub>1</sub>とENIL<sub>2</sub>のPA<sub>3</sub>サービスの 調査報告のウェビナー<sub>4</sub>に登壇してきました!

11月14日、JILの盛上さんから1通のメールがありました。

岡本さん、

お疲れ様です!

すみません、ヨーロッパから今週末締切のリサーチで、日本の介助制度について質問がきていて、少しでも誰か答えてくれる人がいないか?探しています。皆さんお忙しいので厳しいかと思うのですが、、、このメールの下の方に、質問を日本語に訳してあります。

もし一つでもお答えできるのがあれば、、、お願いできませんでしょうか?

よろしくおねがいたします。

Masami Morigami

Sent from my iPhone

それを受け、LINEで個別に連絡したところ。

ヨーロッパの調査いつまでですか?



すみません🙏

今週金曜日に出さないといけないそうで、、、今すぐにもおねがいします、と日本と、韓国、台湾に連絡が来ました。

なかなか厳しいですね😓



でも、その代わりに、そんなに深い詳細は今回は無理だとわかっているので、概要、特徴だけでもいいと、仰っています。

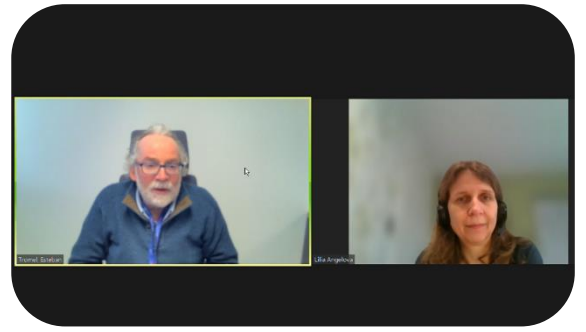
いちいち質問に答えて書くのが大変だろうから、インタビューでの質疑応答でもいいから誰かと繋いでくださいと、頼まれています🙏ひゃーどないしょー

- 国際労働機関 (International Labour Organization、略称: ILO)**  
国際労働基準の制定を通して世界の労働者の労働条件と生活水準の改善を目的とする国際連合の専門機関
- ヨーロッパIL協議会 (European Independent Living Council、略称: ENIL)**  
障害者の自立生活を推進する国際的な組織で、障害者権利条約(CRPD)に基づき、施設からの脱施設化を促進し、障害者が自分らしい生活を送るための支援を提供している
- パーソナル・アシスタント (Personal Assistant、略称: PA)**  
障害者がライフスタイルに合わせて介助者と直接契約を結び、自らマネジメントしていく制度
- ウェブ(Web)とセミナー(Seminar)を組み合わせた造語であり、ウェブセミナーやオンラインセミナーとも呼ばれる。インターネット上で行なわれるセミナーそのもの、もしくはインターネット上でのセミナーを実施するためのツールを指す



ENILのリラさんから聞かれた内容は、以下9の質問でした。

- ① サービスに関する一般的な情報:いつ、どのような法律に基づいて導入されたのか、どのように資金が提供されているのか(国や地方レベルなど)、誰がPAを利用する資格があるのか、どのような制限があるのか(時間数、資金の額、時間など)、提供はどのように組織化されているのか(援助を「購入」するために本人に金銭が支払われるのか、誰が直接提供するのかなど)。
- ② サービスに対する利用者の選択と管理はどのように制限/支援されているか?(例:利用者は、誰が、どこで、いつ、どのようにサービスを提供するかをコントロールできるか)
- ③ サービスを利用する人々が直面するその他の問題(例:アシスタントの採用が難しくなったか、またその理由は何か、アシスタントの離職率は高いかなど)
- ④ サービス利用者、家族、社会にとっての利点は? 労働市場への参加に関する情報
- ⑤ パーソナル・アシスタント: PA の数と利用者の数、PA のプロフィール(男性/女性、年齢、移民の有無など)、誰がアシスタントになれるか(アシスタントやその資格に特別な要件があるか、登録は必要か)。
- ⑥ 給与相場(その国の最低給与や類似部門の給与と比較してどうか、近年は上がっているか下がっているかなど)
- ⑦ 労働条件(契約の種類、アシスタントは他の労働者と同じ権利や手当(年金、休日手当など)を利用できるか、職場の安定性と安全性など)、労働組合があれば参加できるか。問題または優れた慣行があれば教えてください。
- ⑧ 利用者やアシスタントに対する虐待やハラスメントを防止する為に取られた措置(研修、情報提供、モニタリングなど)
- ⑨ 良い実践例に関する提案:例えば、PAを提供するCILについて、利用者/PAへの支援、労働条件、またはPAを提供するCILについて。



など、マニアックな質問の数々。これは、知り得る情報を伝えようと面白半分て色々日々感じていること、ネットの情報などと紐づけ、通院の合間でしたが文案を考え、ChatGPTやDeepLなどで翻訳し、リラさんにメールをしまくりました。特に僕と今村さんとは、直接やり取りしてはいませんでしたが、二人それぞれで一気に回答しました。後になって数えると実に28回、メールでの応答を繰り返しました。我ながらよくやったなと思いました。英訳する作業を円滑にするために日本語もわかりやすく咀嚼しなきゃならないので制度の勉強にもなりました。

その後、約半年ぐらい後の2月頃にJILの盛上さんから再度メールがありました。

今村さん、岡本さん

お疲れ様です。

以前にENILからの紹介でLiliaさんのILOのPAサービスの調査にご協力いただきました。

調査結果を基にウェビナーが開かれるそうで、3月6日の日本時間21:00~22:15だそうです。

このウェビナーにぜひ「登壇して欲しい」と依頼が来ています。

下記、メール翻訳貼り付けます。(機械翻訳ですみません)

お元氣でお過ごしでしょうか。

ENILとILOは、ナオキ、ノボルが情報を提供したPA報告書を発表するためのウェビナーを開催します。

ワークショップは日本時間3月6日21:00-22:15(中央ヨーロッパ時間13:00-14:15)に開催され、ILO、CRPD

委員会、PA利用者、PA、国・地方自治体代表によるプレゼンテーションが予定されています。

日本からPA利用者とそのアシスタントをお招きし、パーソナル・アシスタンスへのアクセス/提供の経験に

ついて15分間のプレゼンテーションをしていただきます。プレゼンテーションで取り上げる質問としては、

以下のようなものが考えられます:PAを利用することで、生活の質はどのように向上し、雇用など他の権利やサービスを利用できるようになりましたか? パーソナル・アシスタントの待遇は適切か?

どなたか興味があり、参加可能な方はいらっしゃいますか? ウェビナーの時間が遅すぎないことを願って

います。米国からもウェビナーに参加する人がいるので、すべての人に都合の良い時間を見つけようとして

しました。参加不可能な場合はお知らせください。

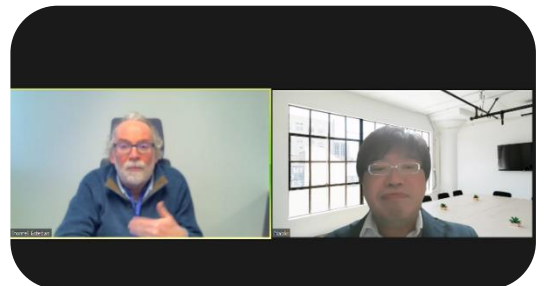
質問があれば教えてください。

よろしく願います。

リラ

早速、今村さんと相談し、私が話すことになりました。15分という尺で通訳もつくということだったので大船に乗った気持ちで準備をしていました。資料も少々張り切りながら速攻で作成することができました。しかしどういうことでしょうか。盛上さん急遽予定が入ってしまったとのことで、通訳をどうしようということになっていました。

しかしながら、以前CIL星空の井谷さんが通訳なしで発言していたことを思い出し、やってみようという気持ちになりました。私も実は30代前半にダスキン留学を夢みていた時代があり、その頃に英会話を学んでいた時期もあったので自分で読み上げようということを決めました。そして当日は、私は存じ上げなかったのですが、有名な方に通訳をお願いし、質疑応答のみをお願いしました。



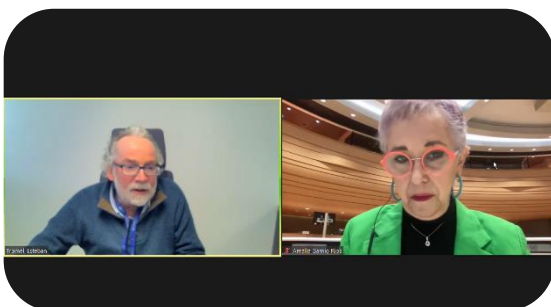
Are the conditions of personal assistants decent and how does this impact quality?

In conclusion, it can be said that it is not appropriate.

- Compared to other home help services, the pay is lower, leading to many major companies not providing the service.
- Even smaller companies often do not offer it, and the number of cases of bankruptcy is increasing every year when it is difficult to hire enough staffs. While the government has introduced a boost system called the Treatment Improvement Allowance, improving conditions for helpers under certain conditions, the caregiving sector still faces significantly low wages.
- Despite the economy showing signs of improvement, recruitment remains challenging, with many still working long hours to make ends meet. Additionally, there are cases of excessive labor, where individuals cannot rest even during nighttime hours, indicating a need for further evaluation.
- Female helpers tend to be less willing to work longer, perhaps because of life events such as pregnancy and childbirth, or because of better support such as maternity leave, and it is analyzed that it may be more difficult to secure human resources. As a countermeasure, more and more overseas workers are being employed, mainly in urban areas.

当日は、遅い時間だったため、少し早めに入浴し、ワイシャツやジャケットなどを羽織りながら緊張しながら時間を待ちました。緊張していましたが、なんとか練習通りに話すことができました。残念ながら質疑応答は、時間の関係で的を射ない質問に回答してしまい、おそらく日本の方だろうと思わせる、我が脱施設プロジェクトに対する質問を見ていたのにも関わらず十分に答えることなく終了してしまい、少し残念な気持ちでしたが良い機会をいただ

いたおかげでENILデビューを果たすことができました。リラさん、盛上さん貴重な機会を頂き、ありがとうございました。



## 精神障害当事者として生きてきて

三輪 寧子

3ヶ月に1度、とても楽しみにしている「精神障害当事者の会」があり、約1年前から参加しています。精神障害は、目に見える身体障害と違い、まだまだ理解度、認知度が低いと思わざるを得ない状況にあります。私は、精神障害から身体障害当事者になりました。精神病院にも入院してことがあります。正に、地獄のようで、今でもトラウマになっています。そこで薬漬けにされ、その後施設に入所しました。あの時の解放感、今もなおはっきり覚えています。施設は、病院の処方箋通りに薬が出、朝ごはんを食べた後、薬の影響で倒れるように眠くなり、職員さんに頼んでベッドに横になり、約3時間熟睡しました。私はそれが死ぬように辛く、担当の職員さんに相談し、「普通の人々が活動している時間に、眠くなるのは死ぬほど辛いです」と、訴えるように伝えました。すると担当の職員さんが、「一度、園に来る精神科の先生に相談する？」とおっしゃってくださいました。ようやく死ぬほど辛い状況を脱出するチャンスだと思い、私は個人的にGoogleで、今まで服用している薬を徹底的に調べて、組み合わせや飲み合わせ等の知識を得ました。園にお越しの精神科の先生には、月に一度しっかり前準備をし、なるべくやわらかく穏やかに、相談をしました。その間、私の担当の職員さんは、黙って後ろで見守ってくださり、どれだけ感謝したか力付けられたか計り知れません。本当にありがとうございました。

「よく御存知ですね」。これが最初の精神科の先生の言葉で、「死ぬほど辛いです。これらの薬を飲み続けるのは、崩れていきます」と、なるべくやわらかく、ゆっくりと穏やかに丁寧に「これを飲むなら、組み合わせとして、こちらの薬に変えていただけませんか？」と訴え、そこから3年かけ、薬を現在飲んでいる薬に変えて頂きました。ようやく薬を変えたお陰で精神状態は安定し、私の生活は落ち着きを取り戻しました。しかし、その幸福は長く続かず、翌年には民間移譲し、お世話になった恩人の職員が総異動してしまい、真逆の生活が始まりました。ちょうどその頃、前々から関わりのあるC I Lふちゅうのスタッフの面々がお祭りや、日常的にも遊びに来てくださり、とても支えになりました。特に故鈴木一成代表から「うちの若い者達が、お世話になっております」と、実に尊いメールをいただきました。その頃からむくむくと自立したい気持ちが沸き起こり、自立の情報収集のため、あらゆるC I Lに「施設にありますが1度自立したいです」とメールしました。しかし、物事はそう単純ではなく、例えば精神科の先生は、自立するにあたり反対で「また余計なこと考えて」と、はっきりおっしゃいました。私はその言葉に『ん？なにをおっしゃるの？』とおもいました。しかし、人生は私のもの。先生の人生とは全く違います。その際、私は自分の足でしっかり立ちたいと祈ったものです。

自立前に直感で、仙川から通える精神科を調べたところ、今の先生が見つかり、今でも信頼関係を結び、8年以上のお付き合いになります。とても理解のある先生で、様々な相談をしております。私は、それなりに勤が鋭く、これまでの人生の中でまさに勤を頼りに、生きてまいりました。今でもこの勤が失せたら死ぬときだな

(次ページへつづく)



おも ています。 出会 いや 縁 に 恵 ま れ、 6月 15日 で 自 立 8周 年 に な り ま す。 自 立 は 学 ぶ こ と が た く さ ん あ り、 今  
 では、 20代 から 60代 の 20名 近 い 介 助 の 方 々 に 支 え ら れ て、 何 と か 幸 せ に 生 き て い ま す。 万 遍 無 く 様 々 な 年 齢 の  
 介 助 の 方 々 は、 時 に は 大 事 な エ ネ ル ギ ー、 ま た 時 に は 大 事 な 話 し 相 手、 し か も 国 から 出 る お 金。 な ん て 恵 ま れ て  
 い る の で し ょ う。 私 を 自 立 へ と 導 い て く だ さ っ た C I L ぶ ち ち ゅ う の 故 鈴 木 一 成 代 表、 今 で は 代 表 と し て、 辣  
 腕 を バ ン バ ン 振 っ て お ら れ る 岡 本 直 樹 さ ん、 い つ も 親 身 に 関 わ っ て く だ さ る N P O 法 人 自 立 生 活 セ ン タ ー 日 野 の  
 秋 山 浩 子 さ ん、 そ し て 私 を 支 え て く だ さ っ て い る 介 助 の 方 々、 近 所 の 個 人 商 店 の 皆 様、 沢 山 の 方 々 に あ り が と  
 う ご ざ い ま す と、 ど れ だ け 感 謝 し て も し き れ ま せ ん。 皆 さ ま、 あ り が と う ご ざ い ま す。 ど う ぞ 末 永 く よ ろ し く お  
 願 い い た し ま す。



## えぬえいちけー しゅつえん 【NHKスペシャルに出演しました】

のうまつ ななみ  
能松 七海



が つ よ っ か つ ち ほ う そ う えぬえいちけー  
5月4日(土)に放送のNHKスペシャル「アタッチメント“生きづらさ”  
 に悩むあなたへ」に出演しました。

な や しゅつえん  
番組は、アタッチメント=愛着をテーマに進んでおり、人間関係や生  
 か た ま な しゅろくじ きんちよう  
き方のヒントについて学ぶことができます。収録時はとても緊張しまし  
 ばんぐみ たずさ ほんとう うれ  
が、番組に携わることができて本当に嬉しかったです。また、番組放送  
 じ べんきよう こえ おお はんきよう いた  
 時には、「勉強になった!」という声をはじめとした、大きな反響を頂きま

した。配信サービスや、次回の再放送でぜひご覧いただければと思います。今後ともよろしくお願いいたします。



## ようせいけんしゅう とうきようかいじょう かいさい よ てい 【バリアフリーリーダー養成研修、東京会場にて開催予定】

のうまつ ななみ  
能松 七海

こ こ 数 年 オ ン ラ イ ン 開 催 だ っ た 研 修 が 10月 に 対 面 開 催 さ れ ま す。 バ リ ア フ リ ー 化 の た め の 交 渉 や 活 動、 地 域 の バ  
 り ア フ リ ー (今 回 は 東 京) の 現 状 に つ い て 学 ぶ こ と を 目 的 と し て い る 研 修 で す。 私 は 現 在、 こ の 研 修 プ ロ グ ラ ム の 実 行  
 い い ん たずさ きかく はな あ すず  
 委員として携わり、企画や話し合いを進めています。どんな研修となるか、皆さん楽しみにしててください!

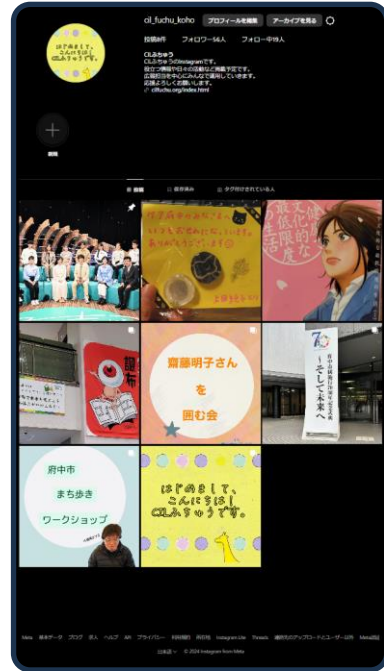
# Instagramアカウント開設しました!

C I LふちゅうのInstagramを開設しました。

イベント参加の投稿や、日常、役立つ情報などを掲載しており、今後も投稿する予定です。

ぜひ、「C I Lふちゅう」または「cil\_fuchu\_koho」で検索して、フォローと応援をよろしくお願ひします!

↓↓QRコード読み込みでのフォローも可能です。



## 編集後記

- ゴールデンウィークに人生初フェスに行きました。最近、巷で注目されているTOMOO良かったです。(岡)
- 府中市の桜祭りに合わせて事務所を開放しました。あいにく、気温は低く雨が降り桜の開花は1週間ほど遅れました。事務所に来ていただいた方は少数でしたが、ありがとうございました。毎年桜の咲く季節は府中市の桜祭りと合わせて、事務所を開放していますので活用してください。(木)
- 約30年ぶりに補聴器をつくりました。技術の進歩に驚くばかりです。(前)
- 皆様もうすぐ夏がやってきます。今年は暑くなると思いますので、体調に気をつけてください。(大)
- 6月から電気代上がりますね、物価高はいつまで続くのかしら(内)
- いつも健康第一。(三)
- 最近の楽しみは映画、直近の鑑賞は、漫画原作の「バギーノイズ」。公開初日に観ました。音楽に向き合う青年たちと、業界のリアルが描かれています。(能)

編集長：岡本 直樹  
 編集員：木本 淳也・前田 裕司・大高 勇樹・内田 恵理子・三輪 寧子・能松 七海  
 編集者：自立生活センター C I Lふちゅう  
 〒183-0055 東京都府中市府中町2-20-13 丸善マンション1F  
 TEL：042-314-2735 FAX：042-314-2736  
 E-Mail：office2735@cilfuchu.com  
 URL：http://cilfuchu.org/

発行：障害者定期刊行物協会 定価100円